

【1-1】博物館資料の収蔵状況(令和元年～5年度)

『基本的運営方針』の方針1(活動目標1・2)には、大津市の歴史と文化の特徴に関わる資料収集・充実が掲げられている。

(1) 購入資料(令和元年～5年度)の点数は合計で47件。大津絵や近江八景の絵画に加え、大津町絵図や膳所藩・堅田藩の藩政関連資料など、市場で販売されている大津ゆかりの古文書・歴史資料を購入した。また、令和元年以降、購入予算を少しずつ増額するとともに、令和5年度からは、高額な資料購入について大津市文化観光振興基金を活用することが可能となり、収蔵すべき資料を柔軟に購入する体制が整った。

購入額(予算額の推移。※令和元年～3年の予算額90万円を超えたものは、増額補正)

令和元年 950,000 円

令和2年 1,199,000 円

令和3年 980,500 円

令和4年 2,526,020 円

令和5年 4,942,300 円(基金を充当し近江八景・比良暮雪を購入)

(2) 受贈資料(令和元年～5年度)点数は合計45件。絵画作品に加え、古文書・歴史資料の寄贈が増加している。とりわけ、大津百艘船関係資料(追加)や大津町絵図(市指定文化財)、昭和期の写真・フィルム資料などが注目される。資料の保存・継承が難しくなった所蔵者からの寄贈が多い。

(令和元年～5年度購入・受贈・受託数)

種別	購入					
	絵画	工芸	書跡	古文書	歴史資料	合計
R1	2	0	1	1	5	9
R2	1	5	1	2	0	9
R3	4	0	0	2	2	8
R4	11	0	0	1	1	13
R5	5	0	0	3	0	8
47						

種別	受贈					
	絵画	工芸	書跡	古文書	歴史資料	合計
R1	6	0	0	3	15	24
R2	0	0	0	0	3	3
R3	1	1	0	0	3	5
R4	0	0	0	0	1	1
R5	2	2	0	1	7	12
45						

種別	寄託					
	絵画	彫刻	工芸	書跡	古文書	歴史資料
R1	0	0	1	0	2	0
R2	0	0	0	0	0	0
R3	-16	0	0	0	-1	-6
R4	34	4	1	1	2	2
R5	1	2	1	-2	7	-4
29						

【1-1】博物館資料の収蔵状況(令和元年～5年度)一覧

【R元年度】

購入1	絵画資料	大津絵 鬼の念仏	1幅	江戸時代
購入2	絵画資料	蕪村句「ところてん」俳画 紀樸亭筆	1点	江戸時代
購入3	書跡資料	紀事・登高記他(岩垣月洲筆)	1冊	明治時代
購入4	古文書	本多康稷書状	1面	江戸時代
購入5	歴史資料	民法大意 上下(黒田行元著)	2冊	明治時代
購入6	歴史資料	改定諸職往来(黒田行元著)	1冊	明治時代
購入7	歴史資料	大津町絵図写	1鋪	昭和時代
購入8	歴史資料	大津町之内浜通之図	1鋪	江戸時代
購入9	歴史資料	大津絵人形 永楽屋製	1組	昭和(戦前)
受贈1	絵画資料	白衣観音図 町田久成筆	1幅	明治時代
受贈2	古文書	大津町中保町江遣ス一札写	1冊	江戸時代
受贈3	歴史資料	秋山公道旧蔵絵葉書	一括	明治～昭和時代
受贈4	歴史資料	木村家資料	一括	安土桃山～明治時代
受贈5	絵画	源氏乃君近江八景遊覧之図 豊原国周画	1組	江戸時代
受贈6	絵画	風水閣襖絵 渡辺公観筆 附風水閣扁額 大谷句佛筆	23面	大正時代
受贈7	絵画	槍持奴図 柴田晩葉筆	1面	昭和(戦前)
受贈8	絵画	三井寺の弁慶力餅 中沢弘光画	1枚	昭和(戦前)
受贈9	絵画	琵琶湖 琴塚英一画	1枚	昭和(戦前)
受贈10	古文書	大津百艘船定書	1通	江戸時代
受贈11	古文書	山地猛書簡(軍事郵便)附封筒	1通	昭和(戦前)
受贈12	歴史資料	京都町奉行高札	1点	江戸時代
受贈13	歴史資料	羽太家資料	一括	江戸～明治時代
受贈14	歴史資料	官幣大社建部神社御勅祭式典之図	1枚	明治時代
受贈15	歴史資料	菓子司藤屋義重関係資料	一括	明治～平成
受贈16	歴史資料	山王祭等坂本関係写真およびフィルム	一括	大正～昭和(戦前)
受贈17	歴史資料	又平人形	一括	大正～昭和(戦前)
受贈18	歴史資料	京津電車御案内 吉田初三郎画	1点	大正時代
受贈19	歴史資料	京阪電車京津沿線案内	1点	昭和(戦前)
受贈20	歴史資料	江若鉄道関係資料(駒井芳雄氏旧蔵)	7点	昭和(戦前・戦後)
受贈21	歴史資料	江若鉄道指定梅田軒駅弁掛け紙	1枚	昭和(戦前)
受贈22	歴史資料	小池正一撮影ガラス乾板	51点	大正～昭和(戦前)
受贈23	歴史資料	TVK-5型テレビ受信機	1台	昭和(戦後)
受贈24	歴史資料	『サヨナラ江若鉄道』8ミリフィルム	1本	昭和(戦後)

【R2年度】

購入1	絵画	大津絵蔵書票 山内神斧画	1冊	昭和時代(戦後)
購入2	工芸	鬼念仏藤娘・槍持奴文時絵印籠 長谷川巨麟斎重美銘	1合	江戸時代
購入3	工芸	圓山湖東染付近江八景見立酒肴什器	1組	明治時代
購入4	工芸	復興膳所鉄絵菊文茶碗 銘幽趣 山元春挙絵付	1客	明治時代
購入5	工芸	復興膳所鉄絵春蘭雲根文茶碗 銘不老萬年 山元春挙絵付	1客	明治時代
購入6	工芸	復興膳所鉄絵真鯉文茶碗 山元春挙絵付	1客	明治時代
購入7	書跡	一行書「鶴舞千年樹」 本多康完筆	1幅	江戸時代
購入8	古文書	船道郷士竹内家文書	1巻(7通)	江戸時代
購入9	古文書	木屋仙右衛門家文書(水戸藩為替方関係)	一括	江戸時代～明治時代
受贈1	歴史資料	石川町絵図	1鋪	江戸時代
受贈2	歴史資料	中野家資料(文書・写真・古銭・紙幣)	一括	江戸時代～昭和時代
受贈3	歴史資料	大津陸軍少年飛行兵学校卒業証書	1枚	昭和時代(戦前)

【R3年度】

購入1	絵画	大津絵 鬼念仏	1枚	江戸時代
購入2	絵画	早苗会寄合六種大津絵図	1幅	昭和時代(戦前)
購入3	絵画	阪本三橋之秋色 柴田晩葉筆	1幅	大正時代
購入4	絵画	紅葉狩図 渡辺公観筆	1幅	大正時代
購入5	古文書	近江国堅田船道郷士竹内家文書(2)	1巻(15通)	江戸時代

購入 6	古文書	本多康慶家中定書	1通	江戸時代
購入 7	歴史資料	大津県高札	1点	明治時代
購入 8	歴史資料	狂歌画本 大津ミやげ	1冊	大正時代
受贈 1	絵画	小林翠溪絵画資料	2幅・1巻	大正時代
受贈 2	工芸	大津絵人形	6点	昭和時代(戦前)
受贈 3	歴史資料	下百石町屋敷割図	1鋪	江戸時代
受贈 4	歴史資料	青木平補短歌(大津事件関係)	1点	明治時代
受贈 5	歴史資料	少年飛行兵学校卒業証書・勅諭	2点	昭和時代(戦前)

【R4年度】

購入 1	絵画	大津絵 役行者	1幅	江戸時代
購入 2	絵画	大津絵 鍾馗	1幅	江戸時代
購入 3	絵画	大津絵 瓢箪鯨	1幅	江戸時代
購入 4	絵画	浮世又平名画奇特 歌川国芳画	竪大判 2枚続	江戸時代
購入 5	絵画	浮世又平名絵の誉 歌川小芳盛画	竪大判 2枚続	江戸時代
購入 6	絵画	近江八景図 比良暮雪 樹下石上画	1枚	江戸時代
購入 7	絵画	近江八景図 三井晩鐘 樹下石上画	1枚	江戸時代
購入 8	絵画	近江八景図 瀬田夕照 樹下石上画	1枚	江戸時代
購入 9	歴史資料	首註陵墓一遇抄	1冊	江戸時代
購入 10	絵画	近江八景之内 粟津晴嵐 三代歌川豊国	1枚	江戸時代
購入 11	絵画	絵画 近江八景図 石山秋月 勝川春山画	1枚	江戸時代
購入 12	絵画	有卦絵 船橋次郎左エ門・藤娘・福岡貢 (文久元年八月五日酉の刻) 歌川芳幾画	1枚	江戸時代
購入 13	古文書	一庭啓二日誌(第三号)	1冊	明治時代
受贈 1	歴史資料	西村誠夫氏写真アルバム 附:滋賀銀行創立30周年 今昔シリーズ	一括	昭和時代

【R5年度】

購入 1	絵画	栄久堂板 近江八景之内 比良暮雪 歌川広重画	1枚	江戸時代
購入 2	絵画	大津絵 十三仏	1面	江戸時代
購入 3	絵画	大津絵 鬼念仏 岩崎象外賛	1幅	江戸時代
購入 4	絵画	大津絵 鬼念仏	1幅	江戸時代
購入 5	絵画	近江八景之内 辛寄の夜雨 溪斎英泉画	1枚	江戸時代
購入 6	古文書	旧膳所藩史料	一括	江戸～明治時代
購入 7	古文書	園城寺花光坊親存売券案	1通	安土桃山時代
購入 8	古文書	葉屋傳兵衛家文書	一括	江戸時代
受贈 1	工芸	瓢花入 「雀の御宿」山元春挙銘・賛 付:春挙箱書桐箱	1口	大正～昭和時代(戦前)
受贈 2	工芸	赤楽茶碗 岩崎健三作・邨松雲外画賛	1客	大正～昭和時代(戦前)
受贈 3	絵画	厨子入日吉山王垂迹神曼荼羅図	1幅	江戸時代
受贈 4	絵画	大津絵十種図 四代目高橋松山筆	3面	平成時代
受贈 5	古文書	元持家文書	一括	江戸～明治時代
受贈 6	歴史資料	木村家資料	一括	江戸～昭和時代(戦後)
受贈 7	歴史資料	大津町古絵図(市指定文化財)	1幅	江戸時代
受贈 8	歴史資料	山田家資料	一括	江戸～平成時代
受贈 9	歴史資料	膳所総絵図(市指定文化財)	1鋪	江戸時代
受贈 10	歴史資料	中村家資料	一括	江戸～昭和時代(戦後)
受贈 11	歴史資料	茂呂家資料	一括	江戸時代
受贈 12	歴史資料	昭和初期 16ミリフィルム	6巻	昭和時代(戦後)

【1-2】「第1期大津市文化財調査・保存・活用計画」関連事業

『基本的運営方針』に挙げられた、「方針1 地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る」は、令和元年に策定された『大津市歴史文化基本構想』でも「市民や市民団体、専門家、関係機関、行政等の協働による歴史文化遺産の調査を推進する」として挙げられている。

当館では、令和4年度から未調査となっている市内の文化財について、計画的に調査するため様々なテーマを設定して調査に取り組んできた。加えて、文化財保護課と文化振興課との三課により令和6年度から8年度を事業期間とする「第1期大津市文化財調査・保存・活用計画」を策定し、これまでの未指定文化財調査に加えて、博物館の収蔵品の整備充実について、大津市文化観光振興基金などを活用しながら、計画的に事業を進めている。

ここでは、以下に事業の概要と各年度の進捗状況を記載する。

◇テーマ

①【市内寺社未指定文化財調査】

大津市は、京都市や奈良市に次いで全国で3番目に国指定等文化財の件数が多く、このうち9割以上を寺社が保有している。市内にはいまだ未調査の寺社が多くあり、文化財的価値がある宝物が眠っていることが予想される。歴史博物館では、文化財所有者による保存や防犯等に関する相談も近年多くなっていることから、彫刻、絵画、工芸品、古文書など未指定文化財の総合的調査を計画的に行う。

調査の成果は、企画展やミニ企画展で紹介するほか、『未指定文化財調査報告書』を刊行し、成果を記録していく予定である。

《令和4年度》

石山寺と浄土真宗、天台真盛宗、天台宗寺院を中心に、39か所、63回の調査を行った。

訪問場所	浄土真宗	真言宗	天台真盛宗	天台宗
回数	17か所(18回)	1か所(1回)	8か所(8回)	5か所(6回)
訪問場所	神社	延暦寺	園城寺	石山寺
回数	5か所(5回)	5回	5回	15回

《令和5年度》

石山寺と園城寺、浄土真宗、天台宗を中心に、32か所、52回の調査を行った。

訪問場所	石山寺	園城寺	浄土真宗	天台宗	天台真盛宗
回数	10回	10回	9か所(9回)	6か所(7回)	3か所(3回)
訪問場所	延暦寺	浄土宗	神社	曹洞宗	その他
回数	2回	4か所(4回)	2か所(2回)	1か所(1回)	4か所(4回)

②【文化財3Dレーザースキャナー計測事業】

市内寺社未指定文化財調査に関連して、通常の方法では計測できない丈六仏や摩崖仏などについて、3Dレーザースキャナー計測を行い、正確な法量計測や、破損状況などの現状を把握する。令和5年度は、滋賀里の「志賀の大仏」と藤尾奥町・寂光寺の「藤尾摩崖仏」の計測を行った。

③【大津の食文化資料調査プロジェクト】

大津市内の食文化や産業に関連する資料の総合調査。大津市内の食に関する企業等に保存されている歴史資料(古文書・近代以降のパンフレットや関連資料、制作道具等)を総合的に調査し、本市の食文化の一端を明らかにする。まずは、大津市史等で資料の所在が確認できている、和菓子と酒造に関する調査から始めた。

《令和4年度》

立命館大学食マネジメント学部の鎌谷かおる研究室との調査体制を整えるとともに、和菓子については、立命館大学グラスルーツ・イノベーション・プログラム(GRIP)に採択され、並行して事業を行なった。内容は①市内の和菓子店の調査(一部聞き取り)②和菓子に関する行事の調査を行い、立命館大学びわこ・くさつキャンパスおよび、歴史博物館1階ロビーで成果発表を行い、堅田に伝わる菓子木型をあわせて展示した。

《令和5年度》

引き続き立命館大学食マネジメント学部の鎌谷かおる研究室との調査体制のもとで、市内に所在する酒造関係資料の整理・撮影を行なった。和菓子については、立命館大学グラスルーツ・イノベーション・プログラム(GRIP)に採択されたことにともない、同事業内において和菓子作りワークショップ(2回開催)などを行なった。

④【大津町絵図プロジェクト】

江戸時代～明治時代の大津町(現在の中心市街地)を描く絵図「大津町絵図」は、全国の関係機関に収蔵されている。これは、かつて大津町に蔵屋敷・蔵元を設置した大名・旗本・寺社ら領主が、都市空間把握のために作成したと考えられるもので、藩政史料などのアーカイブや城下町図集などに多く残されている。

本調査研究では、全国に所在する大津町絵図の調査とデジタルデータの収集を通じ、①江戸時代～明治時代の大津町の都市景観の把握のための資料として「大津町絵図データベース」を作成し(情報蓄積)、②許諾を得たものを順次当館HP古地図データベースにおいて、大津町の都市空間の変遷検討のための基礎データとして公開(公開されているものはリンク)する。そして、③時宜に応じて、大津町絵図を紹介する展覧会を行う。

《令和4年度》

神戸市立博物館所蔵(南波コレクション)、滋賀県立琵琶湖博物館蔵、当館蔵(新規を含む)の高精細写真撮影を実施し、新たに12点の大津町絵図のデータを収集した。

《令和5年度》

未撮影の当館蔵(新規を含む)の大津町全図及び各町絵図の高精細写真撮影を実施し、新たに13点の大津町絵図関係のデータを収集した。

⑤【未指定文化財調査報告書の発刊】

令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用の仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられた。本事業は、古文書・歴史資料について、市民参加を得て史料集を発刊、あわせてHPでの公表を行う。また仏像については、寺社の未指定文化財調査の成果として刊行していく予定である。

令和5年度は『大津百艘船万留帳』2冊と『園城寺の彫刻』(上・下)の計4冊を刊行した。

⑥【館蔵品や未指定文化財の燻蒸】

未指定文化財調査等で発見、確認された文化財を保全するために年2回の燻蒸を行っている。
令和5年度は、1回目は石山寺における悉皆調査と関連して、石山寺の軸類や屏風、聖教類を中心に、2回目は新たに確認された園城寺や西教寺の聖教や古文書、新収蔵品などを中心に行った。

また、文化財修復については、令和5年度に、これまで状態が悪く展示を控えていた館蔵品の瀬田国民学校絵日記（市指定文化財）の修理を完了した。

⑦【古文書・歴史資料整理・調査事業】

大津市内に伝来している古文書のうち、量が多く重要なものについては、大学と共同で調査を行っている。令和5年度は、当館寄託の膳所の中村家文書（約20箱）と伊香立の龍家文書（約10箱）について、佛教大学と京都府立大学と共同調査を行った。

【1-3】大津市歴史博物館調査報告書の発行(令和元年～5年度)

令和元年10月に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用のための仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられている。また『基本的運営方針』方針1(活動2・3)では、収蔵品のデータベース化、活用に向けた情報化が掲げられている。そこで当館では、調査資料のデータを館蔵資料・市内文化財の調査について、その成果をまとめた報告書の発行を令和3年度から行っている。

本事業は市民参加による調査・研究の取り組みに資するものと考え、その成果物の発行は、市民参加による研究活動の成果であるとともに、大津の歴史研究の基礎資料として活用できる。なお報告書は、少数の印刷物を県内図書館・研究機関等に配布し、古文書解読集(史料集)については、全文を本館ホームページで公開している。また、未指定文化財調査関連報告として、「園城寺の彫刻」(上・下)を発行し、県内図書館・研究機関等に配布する。

〔令和3年度発行〕

『大津市歴史博物館調査報告書1 大津百艘船万留帳1』

重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の延宝9年(1681)～寛政8年(1796)のうち7冊分の史料集120頁

『大津市歴史博物館調査報告書2 膳所藩町奉行川那辺壮右衛門日記』

嘉永2年～同3年(1849～50)の全4冊(完結)の史料集125頁

〔令和4年度発行〕

『大津市歴史博物館調査報告書3 大津百艘船万留帳2』

重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の寛政9年(1797)～寛政12年(1800)の4年分の史料集140頁。

『大津市歴史博物館調査報告書4 膳所藩士羽太家「諸事控」』

文化14年(1817)～明治39年(1906)までの全2冊(完結)の史料集105頁

〔令和5年度発行〕

『大津市歴史博物館調査報告書5 大津百艘船万留帳3』

『大津市歴史博物館調査報告書6 大津百艘船万留帳4』

重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の寛政13年(1801)～文化5年(1808)の8年分の史料集2冊(万留帳3:136頁、万留帳4:130頁)。

『大津市歴史博物館調査報告書7 園城寺の彫刻(上)』

『大津市歴史博物館調査報告書8 園城寺の彫刻(下)』

園城寺の彫刻(上)では、天台寺門宗総本山園城寺に伝来するすべての彫刻(仏像・神像)について、写真と簡易調書を網羅的に掲載し、墨書銘などの銘文も集成した。園城寺の彫刻(下)では、主要彫刻67件について写真と詳細な調書を掲載した。(上巻:92頁、下巻:78頁)

【2-1】 常設展示観覧者数(令和元年度～令和5年度)

令和元年度までの年間の常設展示観覧者数は、おおむね20,000人前後で推移している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言や自粛要請が出されていたにもかかわらず、20,000人を超える来館者数を記録した。これは、常設展示室内で開催した特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」と企画展「聖衆来迎寺と盛安寺」の影響が大きいと考えられる。

令和3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症による自粛要請などが影響し、来館者数は落ち込んだが、令和4年度には持ち直し、令和5年度には例年並みにまで回復している。

(単位:人)

年度	個人			団体			市内 65歳以上	市内 障がい者等	歴博 カード 会員	減免・ 招待	計
	一般	高大	小中	一般	高大	小中					
令和元年	6,071	366	546	4,736	203	352	1,139	464	1,575	4,209	19,661
令和2 年 (注1)	7,825	390	546	4,771	202	232	2,024	441	1,227	3,009	20,667
令和3年	5,151	507	654	2,661	243	288	1,285	350	1,229	3,651	16,019
令和4年	6,145	452	518	3,871	282	59	1,290	366	1,820	3,479	18,282
令和5 年 (注2)	6,204	475	625	4,105	404	219	1,438	466	1,648	3,841	19,425
計	31,396	2,190	2,889	20,144	1,334	1,150	7,176	2,087	7,499	18,189	94,054

(注1) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い、4月18日から6月1日まで臨時休館。

(注2) 特集展示「源氏物語と大津」の準備のため、11月21日から1月9日まで臨時休館。

【参考】 常設展示観覧料

個人 一般330円 高校生・大学生240円 小学生・中学生160円

団体 一般260円 高校生・大学生190円 小学生・中学生130円

※団体は15人以上。

※大津市内在住の65歳以上の人は、小中学生料金と同額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。

※歴博カード会員(一般2,000円 高大1,500円 小中1,000円)は記名本人のみ、登録

【2-2】企画展の推移（令和元年度～令和5年度）

『基本的運営方針』方針2（活動目標2）では、企画展の充実をかね、時宜に応じたテーマを交えながら開催している。特に令和元年度以降は、重要文化財指定に関連する企画展、あるいは大河ドラマ『麒麟がくる』にあわせた内容を実施し、あわせて調査・研究で深化した内容をテーマとして取り上げている。

令和元年度の秋季企画展①「**大津南部の仏像**」は、これまでの調査成果を展示に活かした内容となった。秋季展覧会②「**大津絵－ヨーロッパの視点から－**」は、パリで行なわれた大津絵展と連動し、ヨーロッパでの大津絵の受容についても紹介した。春季展覧会は**大津百艘船関係資料**の重要文化財指定・寄贈を記念して開催したものだったが、新型コロナによる緊急事態宣言や自粛要請のため来館者数は伸びなかった。

令和2年度 開館30周年記念として、「**聖衆来迎寺と盛安寺**」(秋季)、「**芭蕉翁絵詞伝と義仲寺**」展(春季)を実施した。秋季展で国宝「六道絵」を一堂に展示したことにより、大河ドラマ『麒麟がくる』にあわせ、常設展示で開催した特集展示「**明智光秀と大津**」関連のミニ企画展を同時期に実施したことにより、新型コロナの影響下にもかかわらず、多くの来場者があった。春季展については、松尾芭蕉の生涯を描いた絵巻「**芭蕉翁絵詞伝**」の全場面を展示するとともに、義仲寺の未公開の寺宝を紹介した。

令和3年度 「**大津のどうぶつ博物館**」(夏季)は、子どもたちの来館を意図した展示で、トワイライトミュージアム(閉館後の見学)など、新たなイベントも行った。また、「**西教寺**」は伝教大師1200年遠忌などに合わせたもので、通常は非公開の西教寺の寺宝を紹介できた。「**蘆花浅水荘と山元春挙画塾**」(春季)は山元春挙誕生150年に合わせたもので、蘆花浅水荘の見学会をはじめ、膳所への回遊を意識したイベントをおこなった。

令和4年度 「**仏像をなおす**」(伝教大師没後1200年記念・夏季展)は、比叡山延暦寺をはじめ、市内寺社の仏像修復・文化財修理の歴史に焦点を当てて紹介したものである。また、「**大友皇子と壬申の乱**」展(壬申の乱1350年記念・秋季)は壬申の乱とともに、敗者となった大友皇子の近代以降の伝承にも焦点を当てた。「**湖都大津の災害史**」(春季)は、総合地球環境学研究所との共催、当市危機・防災対策課との連携展示で、旧志賀町域を中心に防災史の側面から紹介した。

令和5年度 「**発掘された大津の歴史**」(夏季)は、最新の発掘状況も含めて市内38以上の遺跡の発掘成果を紹介した。秋季展①「**近江堅田 本福寺**」は、浄土真宗の古刹である堅田の本福寺に伝わる中世以来の宝物を一堂に紹介し、あわせて堅田の歴史的な歩みを紹介した。秋季展②「**写真展 50年前の琵琶湖・堅田－大西艸人がみた自然と営み－**」では、写真家大西艸人が撮影した昭和40年代の堅田周辺の写真を展示し、2展覧会で堅田を紹介する内容とした。

令和元年度の終わりから令和3年度にかけて、新型コロナによる自粛要請などが影響して来館者数は伸びなかったが、令和4年度には持ち直し、令和5年度には例年並みまで回復した。こうした状況は、来館者以外に展示内容を周知することや、展示内容を記録することを、これまで以上に意識することになり、出品者の理解を得たうえでSNS等を通じて展示内容を紹介することにつながった。

【2-2】企画展の推移(令和元年度～令和5年度)

令和元年度	第79回	大津南部の仏像―旧栗太郡の神仏― 令和元年(2019)10月12日(土)～11月24日(日)／38日間・4397人 図録(A5判112頁)・関連講座3回・国指定文化財展示8件
	第80回	大津絵―ヨーロッパの視点から― 令和元年(2019)10月12日(土)～11月24日(日)／38日間・7598人 冊子(A4判16頁)・関連講座3回・国指定文化財展示0件
	第81回	江戸時代の琵琶湖水運―大津百艘船の航跡― 令和2年(2020)2月29日(土)～4月12日(日)／38日間・1325人 図録(A4判64頁)・関連講座5回(中止)・国指定文化財展示1件(1件自館所蔵)
令和2年度	第82回	聖衆来迎寺と盛安寺―明智光秀ゆかりの下阪本の社寺― 令和2年(2020)10月10日(土)～11月23日(月・祝)／38日間・8429人 図録(A4判144頁)・関連講座4回・国指定文化財展示21件
	第83回	芭蕉翁絵詞伝と義仲寺 令和3年(2021)2月27日(土)～4月11日(日)／38日間・3871人 冊子(A4判16頁)・関連講座4回・国指定文化財展示0件
令和3年度	第84回	大津のどうぶつ博物館 令和3年(2021)7月17日(土)～8月29日(日)／38日間・2349人 冊子(A5判32頁)・関連講座4回・国指定文化財展示4件
	第85回	西教寺―大津の天台真盛宗の至宝― 令和3年(2021)10月9日(土)～11月23日(火・祝)／38日間・3756人 図録(A4判変形144頁)・関連講座4回・国指定文化財展示16件
	第86回	蘆花浅水荘と山元春挙画塾 令和4年(2022)3月12日(土)～4月17日(日)／37日間・3133人 図録(A4判変形48頁)・関連講座4回・国指定文化財展示0件
令和4年度	第87回	仏像をなおす 令和4年(2022)7月23日(土)～9月4日(日)／37日間・3250人 図録(A4判変形30頁)・関連講座3回・国指定文化財展示1件
	第88回	大友皇子と壬申の乱 令和4年(2022)10月8日(土)～11月23日(水・祝)／39日間・3972人 図録(A4判変形96頁)・関連講座3回・国指定展示2件
	第89回	湖都大津の災害史 令和5年(2023)3月4日(土)～4月16日(日)／37日間・2461人 冊子(A4判32頁)・関連講座6回・国指定文化財展示0件
令和5年度	第90回	発掘された大津の歴史 令和5年(2023)7月22日(土)～9月3日(日)／38日間・2119人 図録(A4判変形64頁)・関連講座3回・国指定文化財展示2件
	第91回	近江堅田 本福寺 令和5年(2023)10月7日(土)～11月19日(日)／38日間・2764人 図録(A4判変形96頁)・関連講座7回・国指定展示0件
	第92回	写真展 50年前の琵琶湖・堅田―大西艸人がみた自然と営み― 令和5年(2023)10月7日(土)～11月19日(日)／38日間・4047人 冊子(A4判16頁)・関連講座0回・国指定文化財展示0件

【2-3】ミニ企画展の推移

『基本的運営方針』2(活動目標1)で、ミニ企画展の充実化を挙げている。

当館では企画展以外に、常設展示内で年7～8回のミニ企画展を開催し、新収蔵品や調査成果に関する展示を行っている。この5年間では、特集展示「明智光秀と大津」関連(令和2年)や大津事件130周年展(令和3年)、大津の小学校150年(令和4年)など周年記念に合わせた展示、大津祭曳山の修復に関する展示(令和元年)、近江神宮造営関係資料の調査成果展(令和4年)、未指定文化財調査速報展示(令和5年)などを行なった。

ここでは、開催したミニ企画展の一覧を示す。

年度	回数	ミニ企画展名	会期
平成31年度 (令和元) (2019)	151	平成30年度新収蔵品展	4月23日～6月9日
	152	石田友汀 知られざる技巧派御用絵師	6月14日～7月28日
	153	お盆と地獄・極楽	7月30日～8月25日
	154	フェノロサとビゲローー ー三井寺に遺る史料からー	8月27日～9月29日
	155	江若鉄道ー思い出の品々ー	10月1日～12月1日
	156	大津祭ー近年の修理事業からー	12月3日～1月19日
	157	古墳づくりの終焉ー大津の終末期古墳ー	1月21日～3月1日
令和2年度 (2020)	158	江戸時代 石山寺の即位開帳(大津の古文書12)	3月10日～4月19日
	159	令和元年度新収蔵品展	4月21日～6月7日
	160	歌川広重 近江の浮世絵風景版画	6月12日～7月5日
	161	明智光秀と在地土豪	7月7日～10月11日
	162	明智光秀と坂本城	10月13日～1月11日
	163	降魔大師縁起絵巻	1月13日～2月21日
令和3年度 (2021)	164	歴史資料でたどる大津事件(事件発生130年)	4月20日～6月6日
	165	大津絵 れきはく蔵出し展2021	6月11日～7月25日
	166	青い目の人形と子どもたち	7月27日～9月5日
	167	古代の瓦 鷗尾と鬼瓦	9月7日～10月10日
	168	真盛上人の六字名号と絵伝記	10月12日～11月28日
	169	ゆかいな木版えはがき ー寅年の年賀状ー	11月30日～1月16日
	170	聖衆来迎寺の手鑑 ～古筆切×デザイン～	1月18日～2月20日
令和4年度 (2022)	171	春挙が溺愛した清水風外の竹工芸	3月8日～4月24日
	172	柴田晩葉と近代日本画家の大津絵	4月26日～6月19日
	173	大津市内の淀藩領の村々	6月21日～7月31日
	174	戦時中の紙芝居	8月2日～9月4日
	175	近江神宮造営史ー大洞藤三郎の設計図面からー	9月6日～10月30日
	176	大津の天台真盛宗寺院の寺宝	11月1日～12月4日
	177	仏教美術にみる彩色	12月6日～1月15日
	178	大津の小学校150年	1月17日～3月5日
令和5年度 (2023)	179	新収蔵品展	3月7日～4月16日
	180	大津絵ーれきはく蔵出し展2023ー	4月18日～6月4日
	181	大津の文化財調査中!ー未指定文化財調査速報展示ー	6月9日～7月2日
	182	三井寺の唐時代のパスポート	7月4日～7月30日
	183	ゆかいな絵はがきー暑中見舞いー	8月1日～9月3日
	184	義仲寺の花鳥俳諧摺物 村田東蒼と中島来章	9月5日～10月15日
	185	旗本庄田家と比良	10月17日～11月19日

【2-4】れきはく講座等の実施状況と参加者数等の推移(令和元年～令和5年度)

『基本的運営方針』方針2の活動目標(4)において、幅広い世代に向けた積極的な情報発信として、講座や記念講演会、ワークショップなどを実施している。

新型コロナの影響により、講座回数や定員、内容等の見直しを余儀なくされたが、その後は体験型の講座や展示室内での作品解説など、少人数を対象とした講座を拡充し、満足度を重視した内容の講座を多数行なった。

① れきはく講座(企画展関連・ミニ企画展関連その他)

当館では年間を通じて講座を開催しているが、コロナ禍の令和2年度は開催数を減らすとともに、翌3年度にかけて定員の削減を行なった。令和4年度には応募者が急増したものの、コロナ前よりも定員(当選者)を減らして開講することとしたため、全体に参加者数が減る結果となった。5年度は講座開催回数が多いが、通常の講座に加えてギャラリートーク(展示作品解説)を積極的行なったことによるものである。

年度	実施回数	応募者数合計	当選者数合計	参加者数合計
令和元年度	28回	3,029人	2,823人	2,002人
令和2年度	18回	2,286人	764人	630人
令和3年度	32回	2,465人	1,729人	1,299人
令和4年度	38回	4,206人	2,737人	2,076人
令和5年度	55回	3,751人	3,148人	2,603人

② れきはく講座ワークショップ

れきはく講座として開催している体験型講座。花押作りや兜作りなど、歴史分野を題材としているものの、常連の参加者層とは異なる親子による参加が顕著にみられる。

年度	実施回数	応募者数合計	当選者数合計	参加者数合計
令和元年度	0回	0人	0人	0人
令和2年度	0回	0人	0人	0人
令和3年度	2回	95人	55人	48人
令和4年度	2回	106人	50人	44人
令和5年度	4回	99人	59人	53人

③ 大津絵ワークショップ

令和3年度から、年間を通じて大津絵に親しむ機会を来館者に提供するために行なっている。当館の受付職員の企画・実施による「ステンシルで大津絵を描いてみよう!」や、外来講師による体験型の講座を開催している。

年度	実施回数	応募者数合計	当選者数合計	参加者数合計
令和元年度	1回	67人	31人	27人
令和2年度	0回	0人	0人	0人
令和3年度	(ステンシル) 1回	9人	5人	3人
令和4年度	(ステンシル) 2回	37人	17人	12人
	2回	101人	34人	25人
令和5年度	(ステンシル) 1回	14人	10人	10人
	3回	72人	42人	38人

【2-4】れきはく講座等の実施状況と参加者数等の推移(令和元年～令和5年度)

令和元年度 れきはく講座

	開催日	回数	タイトル	講師	参加者		
					計	会員	一般
1	4月6日	743	法明院を愛したフェノロサとビゲロー	井上 瞳(愛知学院大学准教授)	132	89	43
2	4月13日	744	フェノロサの愛した日本美術『東洋美術史綱』を読む	大久保 美春(比較文化研究者)	110	77	33
3	5月18日	745	どんぐりとまめ―タネからみた原始・古代の大津―	柳原 麻子(大津市教育委員会 文化財保護課技師)	82	67	15
4	5月25日	746	子どもの成長を祈る―なるこ参りと子どもの名前―	柿本 雅美(大津市教育委員会 文化財保護課)	44	40	4
5	7月6日	747	鶴沢派・石田家から応挙まで	五十嵐公一(大坂芸術大学教授)	80	72	8
6	7月20日	748	唐崎にあった米軍の水耕農場	木津勝(本館学芸員)	94	69	25
7	8月10日	749	銅で作った碑	伊藤宗祐	49	47	2
8	8月24日	750	日本美術にみる「あの世」の造形	村松加奈子(龍谷ミュージアム学芸員)	79	73	6
9	9月7日	751	古都礼賛―會津ハ―が「酷愛」した奈良大和路の美―	喜嶋 奈津代(新潟市會津ハ―記念館主査学芸)	87	75	12
10	9月21日	752	古美術写真の革命と會津ハ―	湯浅 健次郎(新潟市會津ハ―記念館学芸員)	72	62	10
11	10月1日	753	【現地見学会】「江若鉄道三井寺下駅を探検する」	木津勝(本館学芸員)	38	31	7
12	10月19日	754	大津市南部の神仏習合	嵯峨井 建(京都國學院講師)	101	84	17
13	10月26日	755	鬼と大津絵(トークセッション)	フランソワ・ラショウ(フランス国立極東学院教授)、鈴木 堅弘(京都精華大学非常勤講師)、横谷 賢一郎(本館学芸員)	91	52	39
14	11月2日	756	パリで注目された大津絵	クリストフ・マルケ(フランス国立極東学院院長)、高橋 松山(五代目・大津絵師)、越 直美(大津市長)、横谷 賢一郎(本館学芸)	137	63	74
15	11月4日	757	江若鉄道元社員の方との廃線跡探訪ビデオ上映と座談会	びわこ鉄道歴史研究会	150		
16	11月9日	758	栗太郡の名刹芦浦観音寺の仏像	和澄 浩介(滋賀県立近代美術館学芸員)	101	84	17
17	11月16日	759	平安時代の仏像―定朝から運慶へ―	浅湊 毅(京都市立博物館連携協力室長)	126	87	39
18	11月23日	760	ワークショップ「大津絵を描こう」	日本大津絵文化協会	21	14	7
19	12月15日	761	大津祭曳山からくりの修理	和田 光生(本館学芸員)	56	47	9
20	1月26日	762	明智光秀と湖西地域	河内 将芳(奈良大学文学部教授)	142	97	45
21	2月1日	763	近年発見された快慶工房の作例について	寺島 典人(本館学芸員)	99	85	14
22	2月8日	764	古墳時代の終焉 大津の後期・週末期古墳	福庭 万里子(本館学芸員)	111	83	28
23	3月6日	765	【中止】第9回 叡山学院 聲明公演	叡山学院修学生 約30名	中止		
24	3月7日	766	大津百艘船と高札―モノの高札から何がわかるか―	杉江 進(大津市教育委員会文化財保護課)	中止		
25	3月14日	767	江戸時代の石山寺の即位開帳	高埜 利彦(学習院大学名誉教授)	中止		
26	3月15日	768	三井寺の涅槃会	鯨井 清隆(本館学芸員)	中止		
27	3月21日	769	坂本周辺の古墳めぐり	福庭 万里子(本館学芸員)	中止		
28	3月28日	770	大津百艘船関係資料による琵琶湖舟運	東 幸代(滋賀県立大学人間文化学部教授)	中止		

令和2年度 れきはく講座

	開催日	回数	タイトル	講師	参加者		
					計	会員	一般
1	4月4日	771	江戸時代の石山寺と旅行者―紀行文と古文書にみる―	青柳周一(滋賀大学経済学部教授)	中止		
2	4月11日	772	幕末における京都・大津間の物資流通	樋爪修(元大津市歴史博物館館長)	中止		
3	5月9日	773	大津の古文書に挑戦!①	高橋大樹(本館学芸員)	中止		
4	5月16日	774	大津の古文書に挑戦!②	高橋大樹(本館学芸員)	中止		
5	5月17日	775	大津に聖火がやってきたーTOKYO 1964	木津勝(本館副館長)	中止		
6	5月23日	776	大津の古文書に挑戦!③	高橋大樹(本館学芸員)	中止		
7	9月18日	777	吉田初三郎画『京津電車御案内』を絵解きする	木津勝(本館副館長)	38	32	6
8	9月25日	778	大津百艘船資料を紐解く	高橋大樹(本館学芸員)	38	27	11
9	10月14日	779	聖衆来迎寺と明智光秀	和田光生(本館学芸員)	62	36	26
10	11月12日	780	宝物にみる聖衆来迎寺と元応国清寺	鯨井清隆(本館学芸員)	49	43	6
11	11月26日	781	発掘された坂本城	福庭万里子(本館学芸員)	52	41	11
12	2月19日	782	元三大師信仰の諸相	寺島典人(本館学芸員)	58	46	12
13	3月13日	783	芭蕉 伊賀時代からの旅立ち	岡本栄(伊賀市長)	77	60	17
14	3月18日	784	歴史資料から読み解く義仲寺(3月18日午前)	高橋大樹(本館学芸員)	49	37	12
15	3月18日	784	歴史資料から読み解く義仲寺	高橋大樹(本館学芸員)	63	35	28
16	3月19日	784	歴史資料から読み解く義仲寺(3月18日午後)	高橋大樹(本館学芸員)	48	45	3
17	3月20日	785	【現地見学会】義仲寺と竜が丘俳人墓地	横谷賢一郎(本館学芸員)	27	12	15
18	3月30日	786	芭蕉翁絵詞伝 絵師と作品	福田道宏(広島女学院大学准教授)	69	29	40

令和3年度 れきはく講座

	開催日	回数	タイトル	講師	参加者		
					計	会員	一般
1	5月11日	787	大津事件と津田三蔵	樋爪修(元大津市歴史博物館館長)	59	37	22
2	5月29日	788	湖国を訪れた二人の皇太子―ニコライとエドワード―	大月英雄(滋賀県立公文書館歴史公文書専門職員)	64	44	20
3	5月30日	789	TOKYO1964～大津に聖火がやってきた～	木津勝(本館副館長)	60	30	30
4	7月4日	―	ステンシルキットで大津絵を描いてみよう!	本館受付係	3	0	3
5	7月10日	790	疫病除けと大津絵	横谷賢一郎(本館学芸員)	67	48	19
6	7月22日	―	トワイライトミュージアム(おとな向け1回目)	鯨井清隆(本館学芸員)	8	6	2
7	7月30日	―	トワイライトミュージアム(子ども向け1回目)	鯨井清隆(本館学芸員)	23	0	23
8	8月8日	―	トワイライトミュージアム(子ども向け2回目)	鯨井清隆(本館学芸員)	36	0	36
9	8月19日	―	トワイライトミュージアム(おとな向け2回目)	鯨井清隆(本館学芸員)	8	1	7
10	8月21日	791	「青い目の人形」と子どもたち	福庭万里子(本館学芸員)	36	32	4
11	9月10日	792	明治時代・外国人たちの日本美術収集	山本真紗子(日本学術振興会特別研究員)	延期		
12	9月25日	793	日本近代木彫の魅力―伝統と革新― 米原雲海の芸術と岡倉覚三の彫刻振興策	白根敏明(フェノロサ学会会員)	延期		
13	10月14日	794	持戒念仏の生涯―真盛上人絵伝記を垣間見る―	郷司泰仁(香雪美術館学芸員)	65	44	21
14	10月21日	795	西教寺と寺社伝奏坊城家	五十嵐正也(本館学芸員)	75	52	23
15	10月30日	796	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」	佛教大学学部生、貝英幸(佛教大学教授)、高橋大樹(本館学芸員)	23	10	13
16	10月30日	797	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」	佛教大学学部生、貝英幸(佛教大学教授)、高橋大樹(本館学芸員)	25	9	16
17	11月10日	798	伝教大師最澄の生涯と思想	井上優(滋賀県文化財保護課主幹)	60	41	19
18	11月18日	799	天台大師像をもちいる儀礼	西谷功(泉涌寺宝物館学芸員)	57	45	12
19	1月27日	800	大津の古文書を読もう!(入門講座)	高橋大樹(本館学芸員)	74	60	14
20	2月3日	801	大津の古文書を読もう!(入門講座)	高橋大樹(本館学芸員)	71	56	15

21	2月10日	802	大津の古文書を読む！(入門講座)	高橋大樹(本館学芸員)	65	52	13
22	2月17日	803	明治時代・外国人たちの日本美術収集	山本真紗子(日本学術振興会特別研究員)	中止		
23	2月23日	804	日本近代木彫の魅力ー伝統と革新ー 米原雲海の芸術と岡倉覚三の彫刻振興策	白根敏明(東京富士美術館前学芸部長)	45	40	5
24	2月25日	805	運慶は鎌倉に行ったのか	浅湊毅(京都国立博物館上席研究員)	63	53	10
25	3月4日	806	第10回 叡山学院 説明公演	叡山学院修学生	中止		
26	3月6日	807	関蟬丸神社下社の歴史と信仰ー江戸時代を中心にー	西川雄也(京都大学大学院人間・環境学研究所博士後期課程)	73	51	22
27	3月10日	808	近江の学僧ー14世紀の説話・筆記との接点ー	宇都宮啓吾(大阪大谷大学教授)	65	60	5
28	3月15日	809	【現地見学会】三井寺の涅槃会	鯨井清隆(本館学芸員)	28	18	10
29	3月16日	810	【現地見学会】蘆花浅水荘と膳所焼美術館探訪	現地講師・本館学芸員	34	10	24
30	3月23日	811	【現地見学会】蘆花浅水荘と膳所焼美術館探訪	現地講師・本館学芸員	36	14	22
31	3月24日	812	明治時代・外国人たちの日本美術収集【2/17から再調整】	山本真紗子(日本学術振興会特別研究員)	38	27	11
32	3月26日	813	「蘆花浅水荘と山元春挙画塾」スライドトーク	横谷賢一郎(本館学芸員)	38	23	15

令和4年度 れきはく講座

	開催日	回数	タイトル	講師	参加者		
					計	会員	一般
1	4月2日	814	「蘆花浅水荘と山元春挙画塾」スライドトーク	横谷賢一郎(本館学芸員)	37	8	29
2	4月6日	815	【現地見学会】蘆花浅水荘と膳所焼美術館探訪	現地講師・本館学芸員	34	16	18
3	4月9日	816	盆梅展「梅仙窟」にみる膳所の近代	木津勝(本館副館長)	52	36	16
4	4月13日	817	「蘆花浅水荘と山元春挙画塾」スライドトーク	横谷賢一郎(本館学芸員)	44	23	21
5	4月14日	818	陽炎園・復興膳所焼とその時代ー古典復興と近代デザイン運動のなかでー	鈎真一(滋賀県立陶芸の森陶芸館学芸員)	51	40	11
6	5月29日	ー	ステンシルキットで大津絵を描いてみよう！	本館受付係	7	0	7
7	7月9日	819	淀藩士渡辺善右衛門がみた朝鮮通信使	木土博成(京都大学文学研究科助教)	65	42	23
8	7月16日	820	淀藩稲葉家と大津	五十嵐正也(本館学芸員)	79	58	21
9	7月29日	821	戦国期の日吉社の復興	嵯峨井建(京都國學院講師)	67	51	16
10	8月6日	822	七条仏師の仏像ひな型	丹村祥子(龍谷大学世界仏教文化センター客員研究員)	64	49	15
11	8月7日	823	新史料『乙夜之書物』から「本能寺の変」を捉えなおす～光秀拳兵から佐馬助の湖水渡り・坂本落城まで～	萩原大輔(富山市郷土博物館主査学芸員)	70	50	20
12	8月28日	824	承久の乱と近江国・勢多	長村祥知(富山大学学術研究部人文科学系講師・大河ドラマ時代考証担当)	79	48	31
13	9月3日	825	鎌倉幕府の成立と近江国	勅使河原拓也(京都大学非常勤講師等)	85	58	27
14	9月4日	826	近世彫刻史における山門復興造像について	大崎理生(美術史家)	77	63	14
15	10月10日	827	壬申の乱とその時代	早川万年(元岐阜大学教授)	160	66	94
16	10月15日	828	あのね、壬申の乱ってね…ー1350年の伝言ゲームと宮滝遺跡の調査前史ー	中東洋行(吉野歴史資料館学芸員)	84	51	33
17	10月22日	829	資料からみる近江神宮造営	赤津将之(本館学芸員)	74	61	13
18	10月27日	830	【現地見学会】近江大津宮関連遺跡をめぐる	福庭万里子(本館学芸員)	16	2	14
19	10月28日	831	企画展「大友皇子と壬申の乱」スライドトーク	福庭万里子(本館学芸員)	87	62	25
20	11月5日	832	壬申の乱と「山前」を考える	松浦俊和(元大津市歴史博物館学芸員)	78	50	28
21	11月10日	833	【現地見学会】壬申の乱伝承地をめぐる	福庭万里子(本館学芸員)	23	19	4
22	11月12日	834	企画展「大友皇子と壬申の乱」スライドトーク	福庭万里子(本館学芸員)	57	39	18
23	11月13日	835	マイ大津絵カレンダーをつくろう！	日本大津絵文化協会、横谷賢一郎(本館学芸員)	8	5	3
24	12月13日	836	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」(午前)	佛教大学歴史学部学生、貝英幸(佛教大学教授)、高橋大樹(本館学芸員)	23	10	13
25	12月13日	837	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」(午後)	佛教大学歴史学部学生、貝英幸(佛教大学教授)、高橋大樹(本館学芸員)	21	7	14
26	12月17日	ー	ステンシルキットで大津絵を描いてみよう！	本館受付係	5	2	3
27	2月2日	838	ボストンからの書簡ー三井寺法明院資料からみるフェノロサ・ビグローー	井上瞳(日本フェノロサ学会、愛知学院大学准教授)	65	56	9
28	2月11日	839	最後の奥絵師、狩野友信ー幕末と明治をつなぐフランス贈呈絵画ー	山田久美子(日本フェノロサ学会、立教大学名誉教授)	68	59	9
29	3月1日	840	第11回 叡山学院 説明公演	叡山学院修学生	21	21	0
30	3月9日	841	十二支の東伝ー彫刻作例を中心にー	赤津将之(本館学芸員)	82	74	8
31	3月11日	842	仏像着衣入門(インド・中国篇)	柘植健生(本館学芸員)	67	61	6
32	3月15日	843	現地見学会 三井寺の涅槃会	鯨井清隆(本館学芸員)	22	14	8
33	3月18日	844	土砂留め奉行ー淀川水系の砂防を担うー	水本邦彦(京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授)	66	56	10
34	3月19日	845	江戸時代の大津の災害史料を読む①	高橋大樹(本館学芸員)	78	57	21
35	3月23日	846	【現地見学会】百間堤とその山麓地域をめぐる	高橋大樹(本館学芸員)	中止	ー	ー
36	3月25日	847	寛文二年近江・若狭地震をめぐる災害対応と復興	東幸代(滋賀県立大学人間文化学部教授)	74	64	10
37	3月26日	848	江戸時代の大津の災害史料を読む②	高橋大樹(本館学芸員)	69	49	20
38	3月31日	849	大津絵でオシャレなブチ掛軸づくり	ミヤマケイ(美術家)、横谷賢一郎(本館学芸員)	17	6	11

令和5年度 れきはく講座

	開催日	回数	タイトル	講師	参加者		
					計	会員	一般
1	4月2日	850	江戸時代の大津の災害史料を読む③	高橋大樹(本館学芸員)	82	64	18
2	4月8日	851	シシ垣をめぐる防災と減災史ー比良山麓地域の石文化ー	落合知帆(京都大学地球環境学准教授)	72	57	15
3	4月12日	852	【現地見学会】百間堤とその山麓地域をめぐる	高橋大樹(本館学芸員)	22	14	8
4	5月4日	853	大津絵スタンプで蔵書票を作ろう！	山田真実氏(木版画家、成安造形大学地域実践領域 助教)	16	5	11
5	5月6日	854	ステンシルで大津絵を描いてみよう！	本館職員、横谷賢一郎(本館学芸員)	10	3	7
6	5月21日	855	鬼念仏とはいかなるキャラクターなのか？	横谷賢一郎(本館学芸員)	63	38	25
7	7月14日	856	「円珍の過所」スライドトーク	寺島典人(本館学芸員)	48	32	16
8	7月25日	ー	ギャラリートーク1回目	福庭万里子(本館学芸員)	8	ー	ー
9	7月26日	857	比叡山の復興と天海僧正	中川仁喜氏(大正大学准教授)	86	76	10
10	7月27日	ー	ギャラリートーク2回目	福田敬(文化財保護課)	19	ー	ー
11	7月30日	858	中世天台僧の学問と談義ー比叡山・三井寺・関東の談義所をめぐるー	渡辺麻里子氏(大正大学教授)	74	69	5
12	8月5日	859	大津市の遺跡発掘① 縄文～古墳時代	西中久典、柳原麻子(市民部文化財保護課職)	103	65	38
13	8月10日	ー	ギャラリートーク3回目	岡田有矢(文化財保護課)	9	ー	ー
14	8月11日	860	徳川家康と大津の寺院	五十嵐正也(本館学芸員)	92	71	21

15	8月17日	—	ギャラリートーク4回目	田中久雄(文化財保護課)	34	—	—
16	8月19日	861	大津市の遺跡発掘② 古墳～平安時代	福田敬、山崎公輔、岡田有矢(市民部文化財保護課職員)	85	60	25
17	8月22日	862	マイ兜を作ろう!(午前の部)	本館職員	17	0	17
18	8月22日	863	マイ兜を作ろう!(午後の部)	本館職員	13	3	10
19	8月23日	864	マイ兜を作ろう!(午前の部)	本館職員	13	3	10
20	8月23日	865	マイ兜を作ろう!(午後の部)	本館職員	10	0	10
21	8月24日	—	ギャラリートーク5回目	西中久典(文化財保護課)	17	—	—
22	8月29日	—	ギャラリートーク6回目	山崎公輔(文化財保護課)	14	—	—
23	8月31日	—	ギャラリートーク7回目	柳原麻子(文化財保護課)	10	—	—
24	9月2日	866	大津市の遺跡発掘③ 鎌倉～江戸時代	西中久典(市民部文化財保護課職員)、小林裕季氏(公益財団法人滋賀県文化財保護協)	90	64	26
25	10月8日	867	角上さんと大津絵のスタンプで俳画を作ろう	山田真実(木版画家、成安造形大学地域実践領域 助教)	7	3	4
26	10月12日	—	ギャラリートーク1回目	高橋大樹(本館学芸員)	16	—	—
27	10月14日	868	本福寺史料が語る戦国の真宗	神田千里(東洋大学名誉教授)	98	74	24
28	10月18日	869	スライドトーク 企画展「写真展 50年前の琵琶湖・堅	木津勝(本館副館長・学芸員)	9	5	4
29	10月19日	—	ギャラリートーク2回目	横谷賢一郎(本館学芸員)	12	—	—
30	10月21日	870	本福寺文書の伝来とその構成	高橋大樹(本館学芸員)	90	71	19
32	10月26日	—	ギャラリートーク3回目	吹上竜司(市民部文化財保護課)、赤津将之(本館学芸員)	40	—	—
31	11月1日	871	スライドトーク ミニ企画展「旗本庄田家と比良」	五十嵐正也(本館学芸員)	14	9	5
33	11月3日	872	本福寺と真宗の美術	柘植健生(本館学芸員)	60	54	6
34	11月4日	873	近現代史のなかの親鸞と蓮如	近藤俊太郎(本願寺史料研究所研究員)	90	78	12
35	11月8日	874	スライドトーク企画展「写真展 50年前の琵琶湖・堅	木津勝(本館副館長・学芸員)	11	5	6
36	11月9日	—	ギャラリートーク4回目	柘植健生(本館学芸員)	25	—	—
37	11月11日	875	本願寺蓮如と堅田本福寺	岡村喜史(本願寺史料研究所上級研究員)	82	50	32
38	11月16日	—	ギャラリートーク5回目	五十嵐正也(本館学芸員)	27	—	—
39	11月18日	876	中世近江の女性と真宗一絵系図に見る女性と子ども	西口順子(相愛大学名誉教授)	72	50	22
40	11月22日	877	大津と芸能のゆかりを学ぼうー常磐津を中心にー	常磐津千寿太夫・菊与志郎	43	37	6
41	12月3日	878	マイ大津絵カレンダーをつくろう	日本大津絵文化協会	16	6	10
42	2月8日	879	東京大学時代のフェノロサーその哲学と日本文化への通路	村山 保史氏(大谷大学教授)	74	60	14
43	2月23日	880	源氏物語と大津	岩坪 健氏(同志社大学教授)	114	61	53
44	3月1日	881	富田幸次郎と日本	橋 しづゑ氏(東京女子大学非常勤講師)	52	48	4
45	3月2日	882	琵琶湖湖西地域の中世ー宇佐山城・坂本城とその周辺ー	南健太郎氏(京都橋大学准教授)、本市職員	101	55	46
46	3月6日	883	第12回 叡山学院 説明公演	叡山学院修学生 約20名	19	16	3
47	3月9日	—	江戸時代の古文書を読むー地域史料から『源氏物語』関連史料までー	高橋大樹 (本館学芸員)	46	33	13
48	3月9日	884	江戸時代の古文書を読むー地域史料から『源氏物語』関連史料までー	高橋大樹 (本館学芸員)	87	62	25
49	3月10日	885	大津絵でオシャレなプチ掛軸づくり	ミヤケマイ氏(美術家)、横谷賢一郎(本館学芸員)	15	7	8
50	3月16日	—	戦国・織豊期の古文書を読むー大津に関わった武将たちー	五十嵐正也 (本館学芸員)	71	40	31
51	3月16日	886	戦国・織豊期の古文書を読むー大津に関わった武将たちー	五十嵐正也 (本館学芸員)	93	63	30
52	3月20日	887	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」午前の部	本館学芸員	23	12	11
53	3月20日	888	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」午後の部	本館学芸員	8	3	5
54	3月23日	889	鎌倉・室町期の古文書を読むー中世の大津を生きた人々ー	吹上竜司 (本市文化財保護課技師)	85	55	30
55	3月31日	890	講談「紫式部と月と源氏物語」・特集展示スライドトーク	旭堂南風(きょくどうなんふう)氏	61	40	21

【2-5】子ども向けイベントの開催状況(令和元年～5 年度)

『基本的運営方針』2(活動目標3)では、子ども・若者に対する学習支援の推進を挙げ、成安造形大学との共同による夏休みワークショップや、大津絵関連のワークショップなどを開催している。

【大津市歴史博物館・成安造形大学共同企画 夏休みおもちゃづくりワークショップ】

成安造形大学共同企画の小学生向けワークショップ。平成14年(2002年)から毎年夏休み時期に実施。制作するおもちゃの企画・キット制作、当日の指導を成安造形大学の学生が担当。常設展示や企画展の内容をテーマとしたおもちゃを毎年考案している。主な対象は小学生とし、大津市内の小学校に児童全数にいきわたる程度のチラシを配布して告知し、毎年多数の申し込みがある。未就学児童を含め、親子連れの参加が多い。参加者数は、おもちゃづくりに参加した子どもの実数。

◆令和元年度「昔のくらし展」をテーマとしたおもちゃづくり(5種類)

開催期間:令和元年(2019年)8月2日(金)～7日(水) 午前・午後各1回 90分(全10回開催)

参加費:300円(材料費) ※各回定員30人

開催日		おもちゃ名	申込	参加		おもちゃ名	申込	参加
8/2(金)	AM	シューティング★スナイパー	127	29	PM	わらじアミーナ	70	29
8/3(土)	AM	ゴー!ゴー!アイロンカー	36	29	PM	わらじアミーナ	31	31
8/4(日)	AM	とびだせ!!ビックリだんす	32	30	PM	つめつめべんとー	51	26
8/6(火)	AM	つめつめべんとー	47	27	PM	ゴー!ゴー!アイロンカー	54	27
8/7(水)	AM	とびだせ!!ビックリだんす	64	29	PM	シューティング★スナイパー	127	26
参加者合計:283人(参加申込者のべ639人)								

◆令和2年 おうちで作って遊べるキットとして「ワクワク大津絵スゴロク」(1種類)を制作・配布

開催期間:令和2年(2020年)、対面開催でなくキットを送付した。

当選キット送付数:459世帯(応募総数:637世帯)

※落選者も多く、キット内容は博物館ホームページでダウンロード可能とした(現在も公開中)。また、期間限定で大学生制作による作り方動画も公開した。

◆令和3年 企画展「大津のどうぶつ博物館」をテーマとしたおもちゃづくり(4種類)

開催期間:令和3年(2021年)8月3日(火)～6日(金) 午前・午後各2回

参加費:300円(材料費) ※各回定員15人程

開催日		おもちゃ名	申込	参加		おもちゃ名	申込	参加
8/3(火)	AM	ゴーゴーアニマルカー	18	15	PM	ゴーゴーアニマルカー	14	11
	AM	どうぶつシルエットパズル	14	14	PM	どうぶつシルエットパズル	12	10
8/4(水)	AM	ゴーゴーアニマルカー	15	10	PM	ゴーゴーアニマルカー	14	11
	AM	どうぶつシルエットパズル	14	13	PM	どうぶつシルエットパズル	9	8
8/5(木)	AM	合体!パチットモンスター	17	16	PM	合体!パチットモンスター	16	14
	AM	ヒャクアシ☆スナイパー	74	13	PM	ヒャクアシ☆スナイパー	34	14
8/6(金)	AM	合体!パチットモンスター	15	12	PM	合体!パチットモンスター	15	15
	AM	ヒャクアシ☆スナイパー	49	14	PM	ヒャクアシ☆スナイパー	29	11
参加者合計:201人(参加申込者のべ359人)								

◆令和4年 常設展示をテーマとしたおもちゃづくり(4種類)

開催期間:令和4年(2022年)8月6日(土)~10日(水) 午前・午後各2回

参加費:300円(材料費) ※各回定員20人程

開催日		おもちゃ名	申込	参加		おもちゃ名	申込	参加
8/6(土)	AM	とどけろ!てんびんマン	19	19	PM	とどけろ!てんびんマン	16	8
	AM	しゅっこーワクワクびわ湖号!	65	18	PM	しゅっこーワクワクびわ湖号!	55	17
8/7(日)	AM	はっけよい!大津絵すもうバトル	15	13	PM	はっけよい!大津絵すもうバトル	11	12
	AM	コロコロ☆お城迷路	119	17	PM	コロコロ☆お城迷路	101	18
8/9(火)	AM	とどけろ!てんびんマン	32	17	PM	とどけろ!てんびんマン	25	19
	AM	はっけよい!大津絵すもうバトル	21	10	PM	はっけよい!大津絵すもうバトル	11	9
8/10(水)	AM	しゅっこーワクワクびわ湖号!	109	15	PM	しゅっこーワクワクびわ湖号!	60	18
	AM	コロコロ☆お城迷路	160	15	PM	コロコロ☆お城迷路	106	19
参加者合計:244人(参加申込者のべ925人)								

◆令和5年 常設展示または企画展「発掘された大津の歴史」をテーマとしたおもちゃづくり(4種類)

開催期間:令和5年(2023年)8月5日(土)~10日(水) 午前・午後各2回

参加費:300円(材料費) ※各回定員20人程

開催日		おもちゃ名	申込	参加		おもちゃ名	申込	参加
8/5(土)	AM	ぐるぐる!からくり水車くん	33	17	PM	ぐるぐる!からくり水車くん	38	19
	AM	はじいて!遺跡ピンボール	69	18	PM	はじいて!遺跡ピンボール	60	18
8/6(日)	AM	ぐるぐる!からくり水車くん	36	17	PM	ぐるぐる!からくり水車くん	27	21
	AM	GOGO!パンツショットガン	14	8	PM	GOGO!パンツショットガン	21	10
8/9(水)	AM	はじいて!遺跡ピンボール	88	18	PM	はじいて!遺跡ピンボール	68	21
	AM	戦え!おおつもう	19	7	PM	戦え!おおつもう	8	5
8/10(木)	AM	GOGO!パンツショットガン	37	18	PM	GOGO!パンツショットガン	30	17
	AM	戦え!おおつもう	17	6	PM	戦え!おおつもう	9	2
参加者合計:222人(参加申込者のべ574人)								

【企画展・ミニ企画展関連オリジナルワークショップ】

◆令和元年企画展「昔のくらし展」

展覧会期:令和元年(2019年)7月30日(火)~8月18日(日) [18日間]

※8月5日(月)、13日(火)は休館

観覧料:無料

主催:大津市歴史博物館、成安造形大学

入場者数:1,683人(内訳は子ども717人,大人966人)

展示内容:昭和30年代頃の昔の道具を展示するとともに、成安造形大学学生が制作した展示物をテーマとした遊べるコーナーを設置。また、本物の昔の道具に触る体験を含む学芸員による展示解説を計8回実施した。①蚊帳に入ってみよう(4回開催)、②毛糸伸ばし器を使ってみよう(2回開催)、③昔のあかり体験(2回開催)

◆大津絵ワークショップ「ステンシルで大津絵を描いてみよう!」

開催日時:令和3年(2021年)7月4日(日)10時~12時

参加費:小学生1名につき材料費1キット300円+人数分の観覧料(団体料金)

参加数:3組(大人4名、小学生3名、計7名)※募集5組に対し応募10組(抽選)

◆ワークショップ「マイ兜(かぶと)を作ろう!」

コロナ禍の中でもおうちで楽しめるものとして、ワークシートやキットなどを公開してきた。このうち、2020年8月公開の「ペーパークラフト 兜(かぶと)を作ってみよう!」を使ったワークショップ。

開催日時:2023年8月22日(火)AM 10時~11時30分(参加人数:17名)

8月22日(火)PM 13時30分~15時(参加人数:13名)

8月23日(水)AM 10時~11時30分(参加人数:13名)

8月23日(水)PM 13時30分~15時(参加人数:10名)

参加費:1名につき300円

講師:当館職員3名、博物館実習生20名

【2-6】 市内小中学校の利用状況(令和元年～令和5年度)

① 減免利用による常設展示観覧

市内の小中学校の児童生徒が教育課程で観覧する場合、事前申請により無料で観覧できる。

小学校は、主に6年生の学習でクラスまたは学年単位での来館が多い。中学校は、1年生の学外活動時に班単位での来館が多い。

年度	小学校	中学校	来館人数合計
令和元年度	2校	5校	406人
令和2年度	0校	0校	0人
令和3年度	2校	1校	117人
令和4年度	2校	5校	317人
令和5年度	0校	8校	293人

② 学芸員の出前講座など

学校からの依頼に応じて、学芸員による出前講座をおこなっている。小学校3年生の社会科の授業「昔の暮らし」「町の移り変わり」などのテーマや、小学校6年生の歴史の授業に関わる依頼が中心となる。「昔の暮らし」単位では、博物館で保管する昭和30年代の昔の道具など実際に児童生徒が触れることのできる資料も示しながら解説している。

年度	小学校3年生	小学校6年生	その他	備考
令和元年度	4校	0校		うち1校は来館による実施。
令和2年度	4校	1校	4年生1校	3年生のうち1校は2回実施
令和3年度	3校	0校		2校はオンライン実施、1校は道具貸出にて対応。
令和4年度	5校	1校		
令和5年度	5校	1校		

② 中学生の職場体験

中学校2年生のカリキュラムとして実施される職場体験について、各学校からの依頼に応じて受け入れている。主な体験内容は、館内見学、来客対応、資料整理の補助作業など。各学校2～4人程で、3～4日程度。

年度	受入れ学校数	参加人数合計	備考
令和元年度	8校	19人	他に、滋賀県立大津商業高校のインターンシップ3人を受け入れた。
令和2～4年度			事業中止
令和5年度	7校	22人	

【2-7】広報・情報発信の状況(令和元年～5年度)

『基本的運営方針』2(活動目標4)において幅広い世代に向けた積極的な情報発信を挙げている。ここでは、令和元年～5年度の博物館からの情報発信の概要を示す。

(1) プレスリリース

令和2年から3年にかけては新型コロナの流行による展示自粛等により減少しているが、令和4年以降は、ほぼもとの数字に戻りつつある。

令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
展示	10	展示	2	展示	5	展示	10	展示	9
調査	0	調査	1	調査	0	調査	1	調査	0
その他	1	その他	2	その他	0	その他	0	その他	2

(2) SNSの利用状況

新型コロナの流行による休館措置等により市民が展示を観覧できない状況が続くなかで、SNSを利用して展示内容を紹介するなど、情報発信を積極的に行った。

●X(旧 Twitter)【総投稿数 1,431、フォロワー数 2,839】※令和6年3月時点

平成 30 年3月1日より運用を開始しているXについて、開始以来継続的に情報発信を行っており、フォロワー数も順調に増え続けている。

●Instagram【総投稿数 380、フォロワー448】※令和6年3月時点

令和 4 年 2 月 1 日より、大津市歴史博物館公式 Instagram での投稿を開始。Xと合わせて情報発信を行っている。

(3) 新型コロナの流行をきっかけに行なった取り組み(コンテンツの追加)

●オリジナル壁紙の公開・配付(令和3年開始)

毎年テーマを変えてデジタルデバイスで利用できるオリジナル壁紙をホームページで公開。

※令和3年:大津絵、令和4年:歌川広重の作品、令和5年:花押

●遊ぼう大津れきはく(令和2年開始)

おもに子ども向けに在宅でも楽しめるコンテンツをホームページで公開

当館のオリジナルや、毎年夏に行っている子ども向けワークショップのレシピを公開

※現在7コンテンツ公開

・ワクワク大津絵すごろく【成安造形大学共同企画夏休みおもちゃづくりワークショップ】

・浮世絵ぬりえ 街道編(1)・(2)

・浮世絵ぬりえ 近江八景(瀬田夕照)・(矢橋帰帆)編

・ペーパークラフト 兜(かぶと)を作ってみよう!

・『漫画大津事件』

・ステンシルで大津絵を描いてみよう!

・大友皇子と壬申の乱すごろく

期間中のトピックス

◆令和3年度ミニ企画展「歴史資料でたどる大津事件」(会期:4月20日~6月6日)に伴い、複雑な大津事件の内容をイラストと文章でわかりやすく紹介した漫画を制作した。パネル展示に加えてX(旧 Twitter)などでも発信したところ、複数のメディアで紹介され好評となった(朝日新聞 5/4、京都新聞 5/4、読売新聞 5/25、びわ湖放送「光ルおおつ」5/15 放送など)

◆令和4年度企画展「大友皇子と壬申の乱」の開催に伴いすごろくを制作した。遊びながら大友皇子と壬申の乱のことが学べる内容で、家族や友人たちと遊んでもらうことを想定し、当館ホームページやSNSで公開した。公開直後から大反響を呼び、Xのリポストは約2,000件、「いいね」は約3,600件に達した。また、毎日新聞の取材を受け、記事は令和5年2月13日に公開された。

【3-1】講師・調査派遣等の状況（令和元年～5年度）

講師派遣は、令和元年度には52件あったが、新型コロナの流行により令和2年度以降は大きく減少した。その後、回数は年々増えているものの、令和元年度以前の回数に達していない。これは、令和元年度は大河ドラマに関連して、明智光秀に関する講演依頼が多かったことも影響している。平成30年度は36回であったため、ほぼ新型コロナ以前の回数だといえる。

依頼先は市内の団体が9割近くを占めている。また、講演内容も大津全体の歴史の話や大津絵、水運など多岐にわたるが、地域の歴史を中心に、可能な限り要望に応えるようにしている。

調査派遣は、令和元年度のみ突出して多いが、これは市内寺社等での展示開催に伴う協力がほとんどを占めている。令和2年度以降は毎年2件である。

外部委員等は、件数は年度ごとにあまり変化はない。市政や観光などに関して専門的な立場で関与する内容のほか、学芸員個人の専門性を活かした内容も含まれている。

	講師派遣 () 内は市内	調査派遣	外部委員等	合計
令和元年度	52 (42)	10	18	80
令和2年度	14 (12)	2	15	31
令和3年度	18 (17)	2	12	32
令和4年度	25 (22)	2	12	39
令和5年度	32 (28)	2	14	48

(単位 件)

〈参考〉令和5年度の状況

Ⅰ 講師派遣

5月28日	大津まちなか大学大津祭学部「大津百町の歴史」	NPO 法人大津祭曳山連盟
6月4日	百間堤見学会	比良比叡トレイル協議会
6月18日	本福寺地域文化講座「堅田歴史探求（古地図で堅田の景観を読み解く）」	浄土真宗本願寺派 夕陽山本福寺
6月21日	市民大学たかしまアカデミー第9回講座 「近江湖西地域の災害と防災史」	高島市教育委員会
6月25日	膳所公民館講座「膳所藩士羽太家の史料と伝来」	膳所公民館
7月4日	晴嵐歴史探検	大津市立晴嵐小学校
7月8日	水害対策を考える防災研修「江戸～明治時代の和邇川流域の災害と防災」	和邇学区自治連合会
7月16日	令和5年度特別展「旅する大津絵展—かわいい！ たのしい！江戸庶民の人氣みやげ—」講演会	那珂川町馬頭広重美術館
7月16日	熱心まちづくり出前講座「若葉台の歴史」	若葉台自治会
8月19日	親子ふれあい大津絵体験教室	大津市市民部文化振興課
9月27日	きらッと大津景観広告賞・古都大津20周年記念賞 大学生ワークショップ	大津市都市計画部都市計画課
9月30日	第29回いざよいシンポジウム 「千那と角上 堅田の芭蕉のお弟子さん」	堅田湖族の郷実行委員会
10月24日	大津まちなか大学歴史まちガイド学部 第4回講座 「源氏物語と大津」	大津百町エリア部会

10月28日	防災学習会「比叡山麓の災害史をたどる」	新大宮川を美しくする会
10月29日	第13回景観まちづくりフォーラム	公益社団法人日本建築家協会
11月9日	地域人材育成事業(けやき教養塾)「琵琶湖水運と堅田」	大津市立仰木の里公民館
11月14日 15日、17日	大津市新規採用職員研修「大津の歴史」	大津市人事課
11月21日	堅田の芭蕉門人 千那と角上	堅田歴史同好会
12月16日	幻の大津城を訪ねて…「塞王の楯」の舞台を歩く	トヨタモビリティ滋賀
12月18日	近江学研究会研究報告 「大津市歴史博物館写真資料の整理と活用」	成安造形大学附属近江学研究所
1月7日	おうみ発630「しがばな」公開収録×大河ドラマ「光る君へ」初回放送パブリックビューイング	NHK大津放送局
1月26日	滋賀県レイカディア大学 楽しく豊かに生きるための基礎講座「病魔退散と大津絵」	滋賀県レイカディア大学
1月30日	大津まちなか大学歴まちガイド学部 第4回講座 「大津百町案内の極意」	大津百町エリア部会
1月30日	小中学校新規採用教員初任者研修	大津市教育センター
2月1日	「歴史博物館の活用と大津の歴史」	
2月4日	ここ滋賀「源氏物語と大津」	びわ湖大津観光協会
2月10日	草津歴史発見塾「広重の視点 名所から風景へ」	草津宿街道交流館
2月24日	大津歴史まちづくりフォーラム「大津宿の歴史」	大津市・公益社団法人滋賀県建築士会 大津地区委員会(博物館共催事業)
2月25日	第46回滋賀県医学検査学会特別講演「発掘された大津の歴史」	滋賀県臨床検査技師会
3月2日	田上福祉大会講演「源氏物語と大津」	田上学区社会福祉協議会
2 調査派遣		
9月25日	仏像調査(～9月28日)	柳井市教育委員会・山口市教育委員会
1月30日	「奈良・大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」作品調査(～2月1日)	株式会社TNC プロジェクト・山梨県立美術館・MIHO MUSEUM・山梨県立博物館

3 委員等

- ・ 滋賀県博物館協議会 理事、研修委員、広報委員(滋賀県博物館協議会)
- ・ 大津市歴史的風致向上協議会 委員(大津市都市魅力づくり推進課)
- ・ 大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会 会員(大津市観光振興課)
- ・ 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会 委員(大津商工会議所)
- ・ きらッと大津景観広告賞・古都大津20周年記念賞 選考委員
- ・ 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境研究所 共同研究員
- ・ 成安造形大学附属近江学研究所 客員研究員
- ・ 豊郷町史編さん執筆委員(美術工芸)
- ・ 清水寺史編纂委員会 委員
- ・ 総本山知恩院史料編纂所 編纂員
- ・ 『園城寺の仏像』編纂委員(天台寺門宗総本山園城寺)
- ・ 堺市博物館共同研究「中世堺における歴史文化に関する学際的研究会」特別委員
- ・ 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館 収蔵品修復業者選定委員(絵画)
- ・ 収蔵品価格評価委員(滋賀県立陶芸の森陶芸館)

【3-2】資料調査の実施状況（令和元年～5年度）

『基本的運営方針』方針3（活動1）には、博物館に関わる大学・諸団体と連携して調査・研究を進め、博物館が歴史情報のセンターとなるよう位置づけている。令和元年から5年度は、継続的な資料調査に加え、他機関・専門家等との合同による資料調査を行った。ここでは、主に科学研究補助事業や競争的資金獲得による調査など、当館がかかわった事業について一覧で記載する。なお、そこで得られた成果については、当館展覧会や講座等で順次紹介されている。

（1）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

- ・基盤研究A「3次元データに基づく人工知能による仏顔の様式研究」
（課題番号 18H03571 代表者 藤岡穰〔大阪大学〕平成30年～令和4年度）
- ・基盤研究A「河内地域の仏教文化と歴史に関する総合的研究」
（課題番号 16H01916 代表者 佐々木丞平〔京都国立博物館〕2016～2020）
- ・基盤研究B「真義真言宗系聖教の形成と教学的交流に関する基礎的研究」
（課題番号 17H02342 代表者 宇都宮啓吾〔大阪大谷大学〕平成29年～令和3年度）
- ・基盤研究C「江戸定府大名堀田氏の所領統治—地域社会と行政機構の相関モデルの構築—」
（課題番号 17K03115 代表者 東谷智〔甲南大学〕平成29年～同31年度）
- ・総合地球環境学研究所プロジェクト「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災（Eco-DRR）の評価と社会実装」（代表者：吉田丈人）
- ・基盤研究C「近世・近代の尼僧の社会活動—尼門跡の支持者と一般尼寺との比較を通して—」
（課題番号 16K02061 代表者 岸本香織〔大手前大学〕2016-04-01 - 2020-03-31）
- ・若手研究「船道郷土文書を基軸とした近江国堅田地域史料の再構築と通時代的研究」
（課題番号 20K13188：代表者 高橋大樹〔佛教大学〕令和2年～令和6年）
- ・東京大学史料編纂所一般共同研究「聖衆来迎寺史料の調査・研究」（令和2～3年度）
- ・基盤研究B「越境する教義問答—東アジア仏教における国際的な相互交流—」
（課題番号 20H01186：代表者大谷由香〔龍谷大学〕令和2年～7年）
- ・基盤研究C「園城寺所蔵中世天台関係聖教の調査による天台談義書ネットワークの解明」
（課題番号 22K00299：代表者渡辺麻里子〔大正大学〕令和4年～令和8年）
- ・立命館大学グラスルーツ・イノベーションプログラム（GRIP）
「『菓都大津』再興プロジェクト」（代表者：鎌谷かおる）

（2）その他の調査

- ・歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会（2グループ）と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成25年～）
- ・龍谷大学・佛教大学・花園大学などの研究者と協力し、法明院の聖教調査を進めている。

【3-3】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況(令和元～5年度)

「基本的運営方針」3(活動目標2)では、他の博物館や団体への展覧会への収蔵品の貸し出し(出陳)を行っている。また、画像等の利用など。特別利用も展覧会や広報関係で数多い。ここではその一覧を示す。

【令和元年度】他館貸出5館

○龍谷大学 龍谷ミュージアム 特別展「日本の素朴絵—ゆるい、かわいい、たのしい美術—」 ・大津絵 阿弥陀三尊来迎(個人蔵・本館寄託)など7件	9月21日～11月17日
○野洲市歴史民俗博物館 特別展「人と魚の歴史学」 ・尾花川親友会共有文書のうち堅田村湖上権の掟書等写(尾花川親友会蔵・本館寄託)など14件	10月5日～11月24日
○斎宮歴史博物館 「東雲の斎王 大来皇女と壬申の乱」 ・南滋賀町廃寺出土 飛雲文鬼瓦(近江神宮蔵・本館寄託)など4件	10月5日～11月10日
○滋賀県立安土城考古博物館 秋季特別展「『動物美術館』開演！」 ・木造狛犬(天皇神社蔵・本館寄託)など8件	10月12日～11月24日
○車石・車道研究会 「車石—江戸時代の京周辺・三街道の車石・車道」展 (会場:ひと・まち交流館) ・大津市歴史博物館企画展「車石」展示パネル 一式	11月15日～11月23日
○博物館資料の特別利用 46件	

【令和2年度】他館貸出3館

○長浜市長浜城歴史博物館 特別展「竹生島弁才天—仏から神へ、その信仰の展開—」 ・日吉山王垂迹神曼荼羅図(本館蔵)	11月28日～令和3年1月17日
○岐阜市歴史博物館 特別展「壬申の乱」 崇福寺跡出土 せん仏断片(近江神宮蔵・本館寄託)	令和3年3月26日～5月16日
○京都国立博物館 特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」 ・慈威和尚像(西教寺蔵・本館寄託)ほか7件	令和3年3月27日～5月16日
○博物館資料の特別利用 87件	

【令和3年度】他館貸出7館

○愛荘町立歴史文化博物館 特別展「入門!古代寺院—旧愛知郡—」 ・崇福寺跡出土舍利容器(複製)(本館蔵)など2件	4月11日～5月23日
○龍谷ミュージアム 特別展「アジアの女神たち」 ・絹本着色阿梨帝母像(園城寺蔵・本館寄託)	9月18日～11月23日
○八代市立博物館未来の森ミュージアム 特別展覧会「妙見信仰と八代」 ・三井曼荼羅(園城寺蔵・本館寄託)など2件	10月22日～11月28日
○比叡山国宝殿 展覧会「戦国と比叡—焼き討ちからの復興—」 ・明智光秀書状(個人蔵・本館寄託)など7件	10月1日～12月5日
○龍谷大学博物館実習室 博物館実習室十二月展「装いの美」 ・藤慶板 近江八景のうち栗津・堅田・比良・歌川広重(本館蔵)	12月1日～4日
○名古屋市博物館 特別展「大雅と蕪村」 ・運座図 横井金谷筆(本館蔵)	12月4日～同4年1月30日
○京都国立近代美術館 「サロン!雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇」展 ・雛飾り図 狩野永岳(個人蔵・本館寄託)など2件	令和4年3月23日～5月8日
○博物館資料の特別利用 77件	

【令和4年度】他館貸出5館

○中之島 香雪美術館 企画展「来迎 たいせつな人との別れのために」 ・阿弥陀三尊来迎図(光明寺・本館寄託)など3件	4月9日～5月22日
○豊川市桜ヶ丘ミュージアム 特別展「元祖 豊川のブランドマーク!? とよかわ 紋・藩ワールド」 ・龍谷伏龍祠記(個人蔵・本館寄託)	10月8日～11月27日
○草津市立草津宿街道交流館 秋季テーマ展「湖国の佳人—近江ゆかりの浮世絵美人画」 ・近江八景(藤慶版)瀬田夕照 歌川広重(本館蔵)など15件	10月15日～11月13日
○朝日町歴史博物館 企画展「縄生廃寺からみる古代の眺め—古代寺院と社会—」 ・崇福寺跡出土舍利容器(複製)(本館蔵)	11月2日～12月4日
○静岡市美術館 「東海道の美 駿河への旅」 ・東海道名所図(本館蔵)	令和5年2月11日～3月26日
○博物館資料の特別利用 62件	

【令和5年度】他館貸出4館

○那珂川町馬頭広重美術館 特別展「旅する大津絵展—かわいい!たのしい!江戸庶民の人気みやげ—」 ・丸清板東海道五十三次のうち五十四 大津 歌川広重画(本館蔵)	7月8日～8月20日
○安城市歴史博物館 特別展「安城譜代2 三河本多一族」 ・金子家由緒書(個人蔵・本館寄託)	9月16日～10月29日
○彦根城博物館 特別展「大名と菓子—百菓繚乱—」 ・上菓子屋仲間条目帳(個人蔵・本館寄託)	10月7日～11月6日
○龍谷ミュージアム 博物館実習十二月展「天つ星 天体と人のつながり」 ・藤慶板近江八景 石山秋月 歌川広重画(本館蔵)など3件	11月29日～12月2日
○博物館資料の特別利用 54件	

【3-4】 企画展示室の利用状況（令和元年～令和5年度）

「基本的運営方針」3（活動目標2）では、博物館展示室を広くギャラリーとして活用供することが挙げられている。当館では、定期的に各種団体への貸館を推進し、地域の文化活動に幅広く対応している。ここでは、企画展示室貸出（貸館）の概要について示す。

年度	展示室	貸出による 展覧会数	観覧者数
令和元年度	企画展示室 A	6 回	9,419 人
令和元年度	企画展示室 B	12 回	19,655 人
令和元年度	企画展示室 A・B	12 回	6,069 人
令和元年度計		30 回	35,143 人

令和2年度	企画展示室 A	1 回	362 人
令和2年度	企画展示室 B	4 回	1,112 人
令和2年度	企画展示室 A・B	8 回	13,978 人
令和2年度計		13 回	15,452 人

令和3年度	企画展示室 A	5 回	3,833 人
令和3年度	企画展示室 B	12 回	4,344 人
令和3年度	企画展示室 A・B	10 回	15,935 人
令和3年度計		27 回	24,112 人

令和4年度	企画展示室 A	4 回	5,025 人
令和4年度	企画展示室 B	12 回	3,695 人
令和4年度	企画展示室 A・B	9 回	18,099 人
令和4年度計		25 回	26,819 人

令和5年度	企画展示室 A	6 回	5,766 人
令和5年度	企画展示室 B	7 回	2,754 人
令和5年度	企画展示室 A・B	11 回	20,205 人
令和5年度計		24 回	28,725 人

※令和5年度は2月13日～3月末まで、LED化工事のため貸しギャラリーを停止した。

【3-5】施設の活用（ロビー展示・キッチンカー等）

◇ロビーの活用

無料エリアであるロビーは、貸しギャラリー観覧者も気軽に観覧できるため、歴史にあまり関心がない層にも歴史や博物館活動に興味を持ってもらうスペースとして格好の場所である。当館では、ミニ企画展に関連したものや時宜を捉えた展示を行ったり、大河ドラマに合わせたパネル展示等を行ったりしている。

【令和3年度】

東京オリンピック 2021 にあわせ、ロビー展「TOKYO 1964ー大津に聖火がやってきたー」（令和3年4月20日（火）～5月30日（日））を開催した。これは昭和39年(1964)9月29日から30日にかけて、第18回オリンピック東京大会の聖火が滋賀県を通過した際の写真や実物資料を展示したものである。



展示の様子

【令和4年度】

夏のミニ企画展「戦時中の紙芝居」にあわせて、大津市遺族連合会の協力を得て、ロビー展「戦地からの手紙」（令和4年8月2日(火)～9月4日(日)）を行なった。

また、令和4年度から始まった未指定文化財調査事業のうち、大津の食文化調査事業に関連して、ロビー展示「木型で誘う菓都大津」（令和5年1月6日（金）～1月22日（日））を開催した。

その他にも、春のミニ企画展「大津の小学校 150 年」に関連して、大津市内の小学校舎の古写真をパネルにして、ロビーに展示した。



「戦地からの手紙」の展示資料



「木型で誘う菓都大津」の展示風景

【令和5年度】

7月～8月、1月にNHK 大津放送局の協力のもと、大河ドラマ出演者パネル及び関連情報パネルの展示を行った。

また、1月には、びわ湖大津観光協会の主催で、特集展示「源氏物語と大津」にあわせて、人形師 東之湖（とうこ）氏が作成した雛人形による展示「雛でめぐる近江八景」を行った。



◇玄関前の活用

当館は館内飲食禁止だが、博物館施設の利活用のために、令和4年度より、秋の展覧会にあわせて正面玄関テラス前で、キッチンカー販売を実施し、テラスで飲食できるスペースを提供した。

・令和4年度

- 1 期間 令和4年10月8日（土）から11月23日（水・祝）までのうち 計14日間
- 2 場所 歴史博物館正面玄関テラス前の軽自動車2台程度のスペース
- 3 事業者数 11事業者（キッチンカー6店舗、物販5店舗）
- 4 利用人数 のべ708名（事業者報告）
 （内訳）平 日 382名/5日間（1日平均76名）
 土日祝 326名/9日間（1日平均36名）

・令和5年度

- 1 期間 令和5年10月12日（木）から11月17日（金）までのうち 計12日間
- 2 場所 歴史博物館正面玄関テラス前の軽自動車2台程度のスペース
- 3 事業者数 8事業者（キッチンカー6店舗、物販2店舗）
- 4 利用人数 のべ220名（事業者報告）
 （内訳）平 日 124名/9日間（1日平均16名）
 土日祝 96名/3日間（1日平均32名）



玄関前のテラス（歴博 TERRACE と命名）



キッチンカー